

楽器を演奏するのも腹式呼吸で！

●飯沼中学校・吹奏楽部に出張講座！

「音楽の都ウィーンからの贈り物」事業の目的は、現在もウィーンを中心としてヨーロッパ各地で活躍されている声楽家・富田千種様（元・ウィーン国立歌劇場バリトン歌手）や、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の奏者などをお招きして、多感な中高生や市内外の愛好家に世界最高峰のクラシック音楽を体験してもらうことを目的としています。事業は3つの段階でのステップアップを目指しています。

* *

1. ウィーンの世界に出会い、興味を持ってもらう段階 ⇒ **コンサート**を通じてウィーンの世界と音楽環境に興味を持ってもらいます。
2. 中高生や合唱サークルの方々が世界レベルの指導を受け、技術を身に付ける段階 ⇒ 富田氏等による**出張指導**により、中高生や合唱サークルの皆さんに世界レベルの技術を自ら体験してもらいます。
3. 世界レベルの音楽を春日部市内で楽しむ段階 ⇒ 今年度以降は、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の奏者を招いて世界最高の演奏を春日部市内で体験できるコンサートを実現します。

* *

こうした考えで、平成 26 年度から次のような事業展開してきました。

〔平成 26 年度〕

- ◆**チャペルコンサート**(春日部福音自由教会丘の上記念会堂、60 人) ※富田千種様(バリトン)と西堂恵麻様(ピアノ)によるコンサート

〔平成 27 年度〕

- ◆「音楽の都ウィーンからの贈り物」コンサート(春日部高校、220 人) ※富田様、山田ゆり子様(ソプラノ)、白取晃司様(ピアノ)によるコンサート

- ◆**出張講座**：春日部高校グリー部声楽指導、緑中学校・豊野中学校で講演と指導

〔平成 28 年度〕

- ◆「音楽の都ウィーンからの贈り物」コンサート(正風館、500 人予定) ※ウィーンフィルのピオラ奏者、ウィーン国立音楽大学ピアノ講師、富田様によるコンサートは 10 月 15 日(土)開催

- ◆**出張講座**：春日部高校グリー部声楽指導、飯沼中学校・葛飾中学校で講演と指導

* *

いずれは、春日部市内でウィーン・フィルハーモニー管弦楽団団員による四重奏をと夢見ています。そのためにもクラシック・ファンを増やしたい、多感な中高生に「音楽を奏でること、歌を自然に歌うことの楽しさを感じてもらいたい」という富田様の精神と技術を広めていきたいと思っています。

こうした流れの中で、今日 20 日午後 3 時 20 分～4 時 10 分は、春日部市立飯沼中学校の音楽室にて、吹奏楽部を対象として声楽家の富田千種様による出張講座を行いました。

吹奏楽部は 1 年生から 3 年生までで 25 人とのこと、1 年生はやっと木管楽器を吹き出したばかり、全体の演奏では不協和音もありました。しかし、富田様は「1 年生はまだ 2 か月、音が出せるだけでも素晴らしいのですよ。大切なことは音程、リズム、スタッカートとレガート、音の強弱を付けることで音楽に膨らみができます。そして、歌も楽器も総て息を出すのは腹式呼吸が基本です」と仰り、パート毎に 8 小節ずつ演奏させて注意事項を述べました。「周りを見るのではなく、自分がしっかりと音を出すことに集中すること」などという注意もありましたが、生徒の皆さんも素直に話を聴き、丁寧にメモを取ってくれていました。指導者の高橋法子先生も積極的です。

富田様から「**次回また来ますので、各自が腹式呼吸をして息の流れを止めずに強く吐く弱く吐くという演奏技術をマスターしてください**」との課題も!!



〔吹奏楽部全員でご挨拶〕



〔パート毎の指導を〕



〔音の強弱を指導〕



〔腹式呼吸でスタッカートを〕



〔全てのパートに腹式呼吸を指導〕